

インフルエンザ定点(小児科定点を含む)

インフルエンザ: 228件(前月比 0. 3、前年比 1. 6)と減少しました。八代が定点当たり10. 9と多いようです。

小児科定点

(全体傾向) 報告数は、3, 582件(前月比 0. 8、前年比 0. 5)と減少しました。そういった中で、手足口病39件(前月比1. 9、前年比 0. 0)とヘルパンギーナ 608件(前月比4. 0、前年比1. 0)が増加しました。一方、感染性胃腸炎1, 537件(前月比0. 8)、A 群溶レン菌咽頭炎343件(前月比0. 9)、流行性耳下腺炎137件(前月比0. 6)、水痘191件(前月比0. 5)と漸減しました。

(疾患別傾向)

1. RSウイルス感染症: 2件(前月比0. 3、前年比0. 3)と減少しました。
2. 咽頭結膜熱: 93件(前月比0. 9、前年比1. 0)と漸減しました。
3. A群溶連菌咽頭炎: 343件(前月比0. 9、前年比1. 0)と漸減しました。
4. 感染性胃腸炎: 1, 537件(前月比0. 8、前年比1. 1)と減少しました。しかし、山鹿(定点当たり64. 0)、菊池(定点当たり54. 88)、有明(定点当たり52. 0)は高いようです。
5. 水痘: 191件(前月比0. 5、前年比0. 3)と減少しました。
6. 手足口病: 39件(前月比1. 9、前年比0. 0)と漸増しました。
7. 伝染性紅斑: 6件(前月比0. 3、前年比0. 0)と減少しました。
8. 突発性発しん: 202件(前月比0. 8、前年比0. 8)と漸減しました。
9. 百日咳: 1件の報告でした。
10. ヘルパンギーナ: 608件(前月比4. 0、前年比1. 0)と著明に増加しました。人吉(定点あたり49. 0)、菊池(定点あたり33. 0)、天草(定点当たり21. 3)が、定点あたり20. 0を超えています。
11. 流行性耳下腺炎: 137件(前月比0. 6、前年比0. 3)と減少しました。しかし、天草(定点あたり13. 3)は定点あたり10. 0を超えています。

眼科定点

1. 急性出血性結膜炎: 報告はありません。
2. 流行性角結膜炎: 報告数60件(前月比1. 0、前年同月1. 1)と増加はありません。地域別では熊本56件、菊池、有明、宇城、天草から各1件の報告です。年齢別では20～39歳代と60～69歳代にピークがありますが、5歳未満にも散見されます。プール遊びが始まりますので注意が必要と考えます。

STD定点

1. 性器クラミジア感染症: 報告数 44件(前月比 0. 7、前年比 0. 9)で、前月比、前年比ともに減少しています。男女別は、男性12件、女性32件で、女性に多く見られます。年齢別は、男性は15～64歳に幅広く見られ、女性は15～39歳に見られます。地域別は、熊本が33件、次いで御船3件、人吉、宇城各2件、菊池、八代、有明、天草各1件でした。
2. 性器ヘルペスウイルス感染症:
報告数 10件(前月比 0. 9、前年比 0. 6)で、前月比、前年比ともに減少しています。男女別は、男性7件、女性3件で、男性に多く見られます。年齢別は、男性は20～54歳、女性は25～59歳に見られます。地域別は、熊本が7件、次いで宇城2件、八代1件でした。
3. 尖圭コンジローマ: 報告数 6件(前月比 0. 9、前年比 1. 2)で、前月比は減少し、前年比は増加しています。男女別は、男性1件、女性5件で、女性に多く見られます。年齢別は、男性は40～44歳、女性は15～39歳でした。地域別は、熊本が5件、八代1件でした。
4. 淋菌感染症: 報告数 6件(前月比 0. 4、前年比 0. 5)で、前月、前年比ともに減少しています。男女別は、男性が4件、女性2件で、男性に多く見られます。年齢別は、男性は15～49歳に、女性は15～24歳に見られます。地域別は、熊本が4件、御船、宇城各1件でした。

基幹定点

(週報分)

1. 細菌性髄膜炎: 1件(前月比一、前年比1. 0)の報告がありました。70歳以上が1件で、八代1件でした。
2. 無菌性髄膜炎: 4件(前月比2. 0、前年比0. 8)の報告がありました。5～9歳が3件、25～29歳が1件で、熊本3件、人吉1件でした。
3. マイコプラズマ肺炎: 12件(前月比0. 7、前年比1. 1)の報告がありました。1～4歳が4件、5～9歳が4件、10～14歳が3件、15～19歳が1件で、熊本9件、有明3件でした。
4. クラミジア肺炎: 報告はありませんでした。

(月報分)

1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症:
52件(前月比1. 0、前年比0. 8)の報告がありました。熊本地区から41件(78. 8%)、山鹿6件、阿蘇4件、人吉1件でした。年齢は高齢者(70歳以上)が多く31件(59. 6%)認められます。また、0歳が1件、1～4歳が2件、5～9歳が1件、35～39歳が1件、40～44歳が4件、45～49歳が1件、50～54歳が1件、55～59歳が3件、60～64歳が2件、65～69歳が5件でした。
2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症:
報告はありませんでした。
3. 薬剤耐性緑膿菌感染症: 報告はありませんでした。

4. 薬剤耐性アシネトバクター感染症:
報告はありませんでした。

届け出対象感染症

- 1類感染症: 報告はありませんでした。
2類感染症: 結核: 30件
3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症: 5件
4類感染症: 日本紅斑熱: 6件
ボツリヌス症: 1件
レジオネラ症: 4件
5類感染症(全数把握): アメーバ赤痢: 1件
急性脳炎: 1件
クロイツフェルト・ヤコブ病: 1件
後天性免疫不全症候群: 2件